

2017年7月3日現在

日本文化政策学会  
第11回年次研究大会  
研究発表分科会  
タイムスケジュール

研究大会テーマ  
「文化政策の可能性と課題」

2017年9月17日(日)・18日(月)

会場：北海道大学

2017年7月3日現在

大会スケジュール	
<b>9月17日(日)</b>	
08:30	受付開始
09:00~10:45	分科会Ⅰ-A~E
11:00~11:15	開会あいさつ、祝辞等
11:15~13:00	公開ラウンド・テーブル 「文化芸術に関わる法制度を問う~文化芸術振興基本法の改正、文化財保護法、障害者のための文化法」(予定)
13:00~14:00	昼食
14:00~15:30	企画フォーラム(4企画) (1)「地域における文化振興は、行政と市民の意識を変えるのか?」 (2)「多様な人々を受け入れる劇場をつくるために—文化政策の視点からアプローチする『劇場のアクセシビリティ』」 (3)「文化政策史とは何か—近代東アジア文化政策史の視点から」 (4)「自治体文化財団のマネジメントとガバナンス—自治体と自治体文化財団の関係のあり方—」
15:45~17:45	公開シンポジウム1 「文化の胆力が拓く希望創造都市—少数派からの挑戦—」
18:00~20:00	懇親会
<b>9月18日(月・祝日)</b>	
08:30	受付開始
09:00~10:45	分科会Ⅱ-A~E ※分科会Ⅱ-Bのみ 08:30~10:50
10:45~12:45	分科会Ⅲ-A~E
12:15~13:15	ポスターセッション(コア・タイム)
12:45~13:45	昼食・理事会
13:45~14:15	総会
14:30~16:30	公開シンポジウム2「文化事業に関する評価の再検証」

2017年7月3日現在

## 研究発表分科会タイムテーブル

※予定討論者は、後日、発表。

### 9月17日(日)

8:30 受付開始

9:00~10:45 分科会 I A~E

分科会 I — A「自由討論 1」 座長：太下 義之（三菱UFJリサーチ  
&コンサルティング）

発表者：

- ①佐藤 良子（昭和音楽大学）、武濤 京子（昭和音楽大学）  
「The Association of Arts Administration Educators(AAAE)の活動：  
アートマネジメント教育の歴史と国際ネットワーク」
- ②陸 善（法政大学大学院政策創造研究科）  
「日本と韓国における高齢者の芸術文化教育」
- ③小島 立（九州大学大学院法学研究院）  
「『ストリートアート』に法はどのように向き合うべきなのか？」

分科会 I — B「地域とアート：経済、市民参加、運営基盤 1」

座長：吉田 隆之（大阪市立大学）

発表者：

- ①藤原 旅人（九州大学大学院芸術工学府博）  
「芸術創造を支援する市民の主体性に関する研究」
- ②三宅 美緒（北海道大学大学院文学研究科）  
「500m美術館ボランティアの変遷」
- ③柴田 尚（北海道教育大学芸術・スポーツ文化学科）  
「ヌーヴォーシルクとワイナリー」

分科会 I — C「市民社会と地域資源」座長：吉澤 弥生（共立女子大学）

発表者：

- ①落合 志保（立教大学大学院社会学研究科社会学専攻）  
「森林ボランティアの活動が地域住民に与える影響」

**2017年7月3日現在**

②岩井 千華（九州大学大学院芸術工学府）

「図書館の文化活動への市民参加の意義と課題」

③古池 嘉和（名古屋学院大学現代社会学部）

「多治見市における産業・文化資源活用政策の一考察」

分科会Ⅰ ー D「劇場を考える」 座長：柴田 英杞（芸術文化振興会）

発表者：

①大橋 加奈（静岡文化芸術大学文化庁補助事業プロジェクト）、宮治磨里（静岡文化芸術大学文化庁補助事業プロジェクト）

「全国の自治体文化財団における経営実態とその変化要因-「SUAC 芸術経営統計」をもとに-」

②徳永 高志（NPO 法人クオリティアンドコミュニケーションオブアーツ）

「近代日本における劇場観の変遷」

③山口 真由（劇団7度）

「「公共圏としての劇場」の理論的再検討—公共圏の複数性と文化施設／劇場の関係を踏まえて」

分科会Ⅰ ー E「都市の文化政策」座長：藤井慎太郎（早稲田大学）

発表者：

①曾田 修司（跡見学園女子大学マネジメント学部）

「カナダ・ケベック州の文化政策と CINARS」

②李 知映（東京大学政策ビジョン研究センター／関東学院大学）

「伝統芸能の産業化 —韓国貞洞（ジョンドン）劇場の『ミソ（MISO）』を事例として—」

③長嶋 由紀子（東京大学大学院人文社会系研究科）

「フランスの都市社会政策における文化政策の課題（仮題）」

**11:00~11:15 開会あいさつ、祝辞等**

**11:15~13:00 公開ラウンド・テーブル**

テーマ：「文化芸術に関わる法制度を問う～文化芸術振興基本法の改正、文化財保護法、障害者のための文化法」（予定）

2017年7月3日現在

13:00~14:00 昼食

14:00~15:30 企画フォーラム(4企画)

(1)「地域における文化振興は、行政と市民の意識を変えるのか？」

企画代表者：マルコス・ペルシチ（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻）

(2)「多様な人々を受け入れる劇場をつくるために—文化政策の視点からアプローチする『劇場のアクセシビリティ』」

企画代表者：萩原 昌子（NPO 法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク）

(3)「文化政策史とは何か—近代東アジア文化政策史の視点から」

企画代表者：大蔵 真由美（東海学院大学短期大学部）

(4)「自治体文化財団のマネジメントとガバナンス—自治体と自治体文化財団の関係のあり方—」

企画代表者：高島 知佐子（静岡文化芸術大学文化政策学部）

15:45~17:45 公開シンポジウム1

テーマ：「文化の胆力が拓く希望創造都市—少数派からの挑戦—」

18:00~20:00 懇親会

9月18日（月、祝日）

08:30 受付開始

09:00~10:45 分科会Ⅱ—A~E

※分科会Ⅱ—Bのみ 08:30~10:50

分科会Ⅱ — A「自由論題 2」 座長：片山 泰輔（静岡芸術文化大学）

**2017年7月3日現在**

発表者：

- ①藤原 恵洋（九州大学大学院芸術工学研究院）  
「小池新二における戦前期「造形政策」提唱と戦後デザイン政策構想への継続性」
- ②梅原 宏司（近畿大学）  
「南原繁の文化国家論」
- ③猿田 かほる（立教大学大学院社会学研究科）  
「ダンスプレイヤーの社会学的考察」

分科会Ⅱ — B「地域とアート：経済、市民参加、運営基盤 2」

座長：熊倉純子（東京藝術大学）

※発表者4名のため、8：30開始、10：50終了

発表者：

- ①赤松 洋子  
「2010年代中核市におけるアートNPOと公共ホールとの協働 —茨城県つくば市の事例より」
- ②神保 富美子（公益財団法人さいたま市文化振興事業団）  
「劇場、音楽堂等における文化ボランティアに関する一考察」
- ③石垣 尚志（東海大学文学部）  
「映像制作ワークショップにおける共創と創造性—「札幌国際芸術祭 2017CM 映像制作ワークショップ」を事例として—」
- ④桧森 隆一（北陸大学国際コミュニケーション学部）  
「『アーティスト未満』の研究～浜松市鳴江アートセンターの事例から」

分科会Ⅱ — C「制度運用の実際／組織運営の持続性」 座長：友岡 邦之（高崎経済大学）

- ①小林 真理（東京大学大学院）  
「指定管理者制度以降の民間企業展開と財団の役割変化」
- ②鬼木 和浩（横浜市）  
「自治体設置美術館における行政的価値と美術的価値の最大化～指定管理者制度運用の可能性に関する考察～」
- ③岩瀬 智久（静岡県）  
「文化施設評価の現状と文化政策評価の課題—静岡県の事例から—」

2017年7月3日現在

分科会Ⅱ ー D 「文化財保護の本質とその政策の姿 1」座長：馬場憲一  
(法政大学)

①森屋 雅幸（都留市教育委員会）

「地域の文化財保存・活用とコミュニティに関する研究ー山梨県指定文化財旧尾  
県学校を事例としてー」

②須田 英一（法政大学現代福祉学部）

「文化財としての『考古資料』概念の形成と展開」

③高久 彩（九州大学大学院地球社会統合科学府）

「明治国家の「歴史観」と博物館の「歴史観」との関係について ー黒川真頼の著  
作の分析を通してー」

分科会Ⅱ ー E「文化を通じた地域づくり 1」座長：野田 邦弘（鳥取大学）

①松本 茂章（静岡文化芸術大学）

「芸術家の定住をめぐる文化政策の試み」

②加藤 康子（北海道大学大学院国際広報メディア観光学院）

「都心の新たなプレイヤーとしての趣味縁の拠点～群馬県前橋市と北海道札幌市  
の事例から～」

③吉峰 拓（九州大学大学院）

「創造的人材の移動と集積がもたらす地域再生への影響ー大分県竹田市の参与調  
査を通して」

10:45～12:45 分科会ⅢーA～E

分科会Ⅲー A 「社会的課題と芸術：文化政策的観点から」座長：伊藤 裕夫  
(日本文化政策学会理事)

①國盛 麻衣佳

「産炭地の文化的重層性と移住者の受容に関する考察 ー三井三池鉱山の文化活  
動を通してー」

②長津 結一郎（九州大学大学院芸術工学研究院）

「芸術と社会包摂をめぐる受容に関するー考察：映画『記憶との対話～マイノリ  
マジョリテ・トラベル、10年目の検証～』上映会をめぐる」

③谷地田 未緒（東京芸術大学大学院国際芸術創造研究科）

「地域文化資源を利用した教育プログラムとその政策的支援ーマレーシア Arts

**2017年7月3日現在**

Ed と Kota Kita を事例に」

分科会Ⅲ一 B 「文化政策と評価」 座長：吉本 光宏（ニッセイ基礎研究所）

①関 鎮京（北海道教育大学芸術・スポーツ文化学科）、金 英柱（韓国国際芸術大学）

「韓国の『文化影響評価制度』に関する現状及び今後の展望」

②熊谷 薫（アートマネージャー）

「日本国内の地域アートプロジェクト及び芸術祭における評価の現在」

③中村 美亜（九州大学大学院芸術工学研究院）

「文化事業における価値創造の評価」

分科会Ⅲ一 C 「文化とナショナリズム」 座長：河島 伸子（同志社大学）

①松本 郁子（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学科）

「カナダ 文化政策前史 マッセイ委員会とキリスト教会—カナダ合同教会による『文化』の再考—（仮題）」

②Marcos Persici（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学科）

「ブラジルにおける『民衆文化』支援政策に関する考察：クルトゥラ・ヴィヴァを事例に」

③南田 明美（神戸大学大学院国際文化学研究科）

「国立芸術評議会の Arts and Cultural Node 事業における市民社会と文化的ナショナリズムに関する—考察：Arts Gally@Taman Jurong を事例に（仮）」

分科会Ⅲ一 D 「文化財保護の本質とその政策の姿 2」座長：藤原 恵洋（九州大学大学院）

①土屋 正臣（藤岡市役所）

「文化財保護行政から歴史まちづくり行政へ—京都府宇治市を事例として—」

②大上 美来（静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科）

「都市部における歴史的町並み保全の現状と課題 —神奈川県・旧東海道宿場町を事例に—」

分科会Ⅲ一 E 「文化を通じた地域づくり 2」座長：小林 真理（東京大学大学院）

2017年7月3日現在

①榎原 彩（東京藝術大学大学院音楽研究科音楽専攻音楽文化学研究領域芸術環境創造）

「《長野県歌「信濃の国」》の新たな受容状況からみるコミュニティ観の変移に関する研究」

②滋野 浩毅（京都産業大学現代社会学部教授）、川那辺香乃（BRDG）

「閉校再利用施設におけるアートプロジェクトの実践的研究 ー京都府京丹波町旧質美小学校『423 アートプロジェクト』を事例としてー」

③本田 洋一（大阪市立大学客員研究員）

「大阪の音楽文化の蓄積と特色ーオーケストラの役割」

12：15～13：15 ポスターセッション（コア・タイム）

12：45～13：45 昼食・理事会

13：45～14：15 総会

14：30～16：30 公開シンポジウム2

テーマ：「文化事業に関する評価の再検証」

以上